

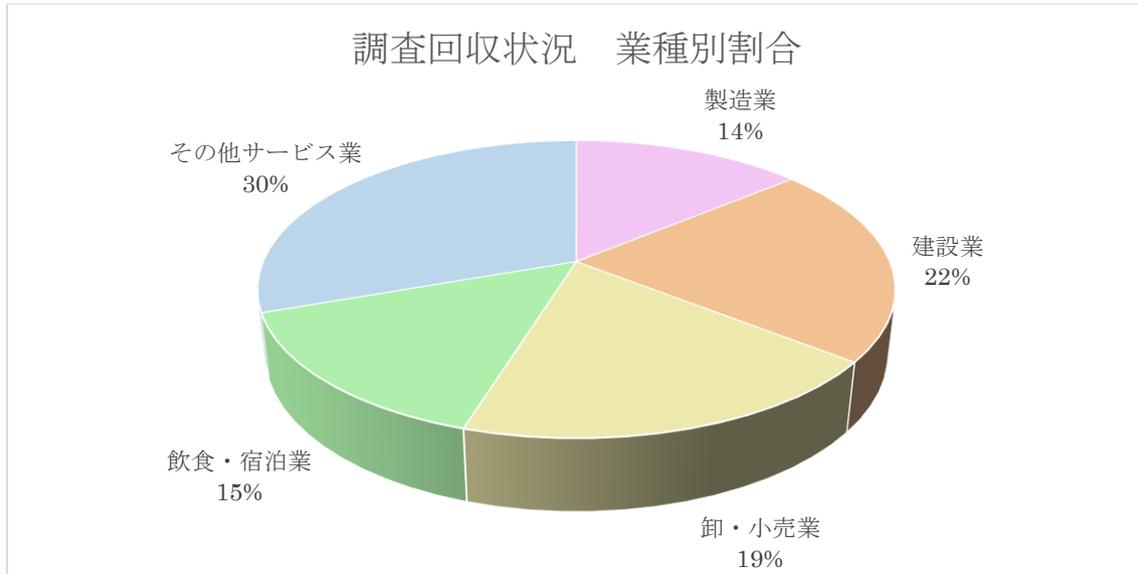
## 千歳市景気動向調査結果

調査期間：2023年7月～9月の実績と2023年10月～12月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査企業：千歳商工会議所会員（特別会員を除く）と特定商工業者約1,300社に依頼

回収状況：120社（約9.2%）



### DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2023年4～6月）と比較した今期（2023年7～9月）の実績及び、今期（2023年7～9月）と比較した来期（2023年10～12月）の予測、今期（2023年7～9月）と前年同期の比較を掲載しています。

## 《 全体の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (4～6月)		今期実績 (7～9月) 【前年実績】		来期予測 (10～12月)
業況	12.2	↓	3.3 【▲1.8】	↓	▲5.8
売上	9.6	→	9.2 【 5.4】	↓	▲2.5
採算	▲13.9	→	▲12.5 【▲17.1】	↓	▲18.3
原材料	▲80.9	→	▲76.7 【▲91.7】	↑	▲65.0
資金繰り	▲3.5	→	▲3.3 【▲11.7】	↓	▲14.2
労働時間	5.2	→	3.3 【 1.8】	→	4.2
雇用状況	35.7	↓	27.5 【 28.8】	→	27.5

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

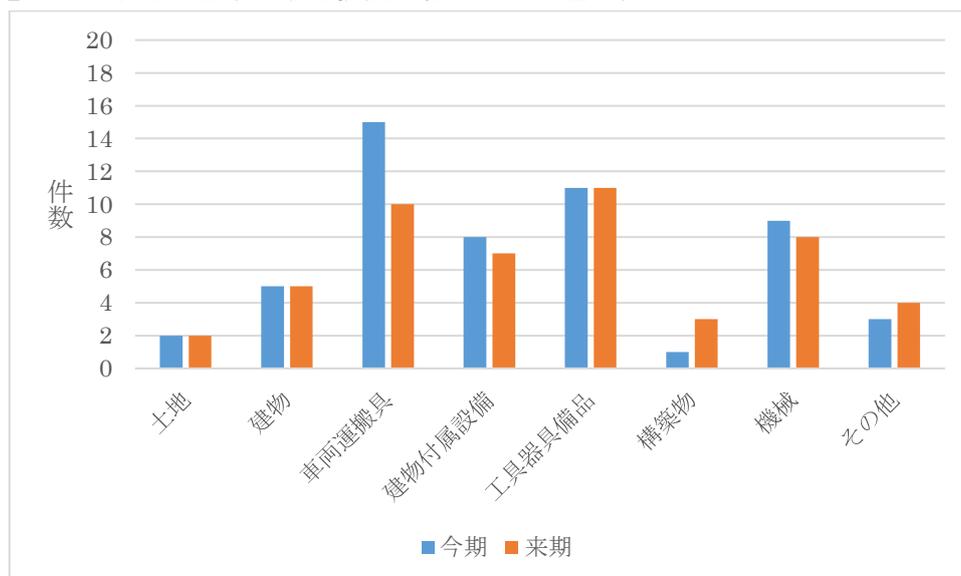
### 【設備投資調査】

前期（4～6月）設備投資をした企業は48.7%

今期（7～9月）設備投資をした企業は34.2%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は35.8%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 製造業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (4～6月)		今期実績 (7～9月) 【前年実績】		来期予測 (10～12月)
業況	43.8	↓	37.5 【0.0】	↓	25.0
売上	37.5	↓	25.0 【▲6.7】	↓	0.0
採算	25.0	↓	6.3 【▲26.7】	↑	12.5
原材料	▲75.0	↓	▲81.3 【▲93.3】	↑	▲62.5
資金繰り	18.8	→	18.8 【▲13.3】	↓	6.3
労働時間	25.0	↓	18.8 【0.0】	↑	25.0
雇用状況	50.0	↓	18.8 【26.7】	↑	31.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

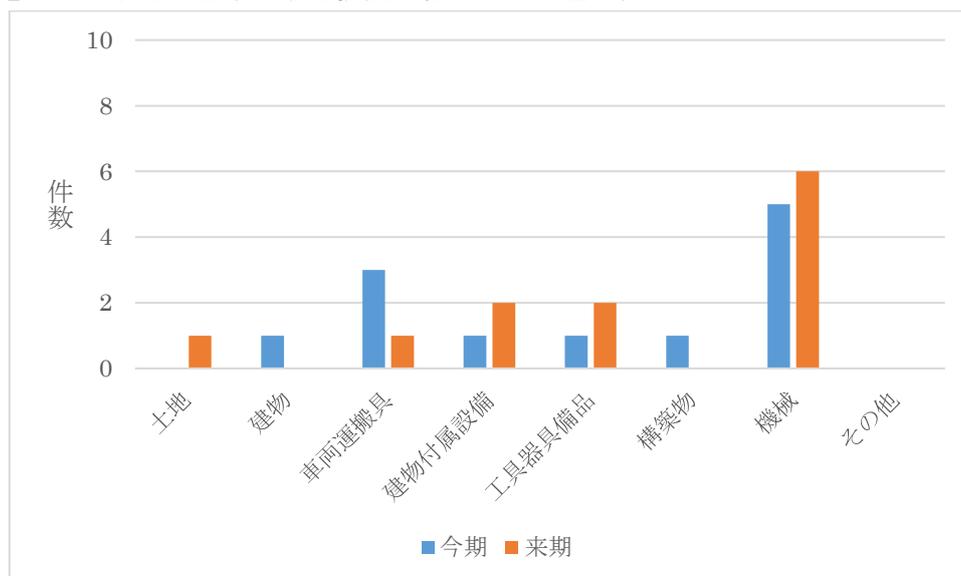
### 【設備投資調査】

前期（4～6月）設備投資をした企業は81.3%

今期（7～9月）設備投資をした企業は50.0%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は50.0%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 建設業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (4～6月)		今期実績 (7～9月) 【前年実績】		来期予測 (10～12月)	
	値	変化	値	前年実績	値	変化
業況	▲16.0	↑	▲4.8	【▲10.5】	4.8	↑
売上	▲20.0	↑	▲14.3	【▲5.3】	4.8	↑
採算	▲36.0	↑	▲28.6	【▲15.8】	▲14.3	↑
原材料	▲84.0	→	▲81.0	【▲89.5】	▲66.7	↑
資金繰り	▲8.0	↓	▲19.0	【▲21.1】	▲14.3	→
労働時間	▲8.0	↑	0.0	【0.0】	23.8	↑
雇用状況	44.0	↑	57.1	【42.1】	52.4	→

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

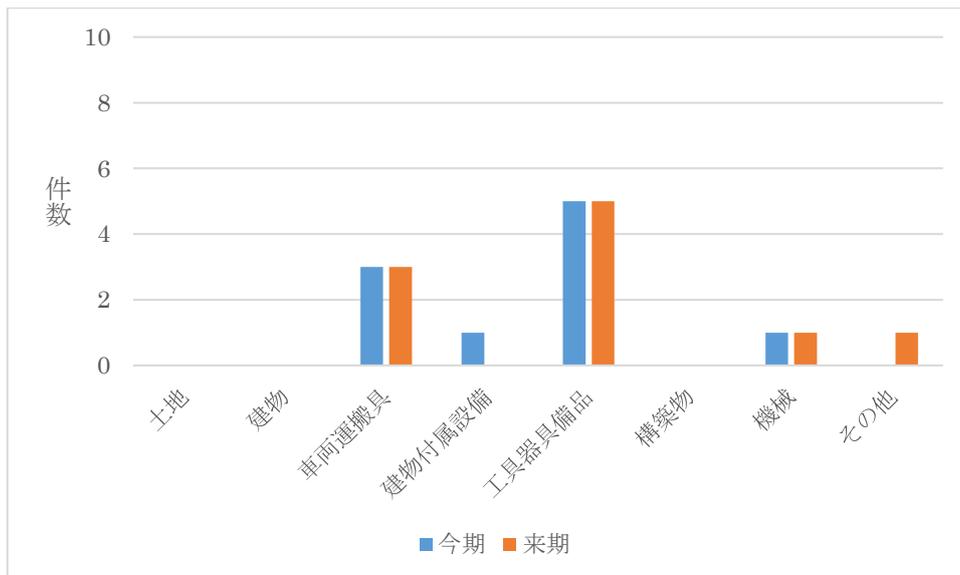
### 【設備投資調査】

前期（4～6月）設備投資をした企業は64.0%

今期（7～9月）設備投資をした企業は38.1%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は47.6%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 卸・小売業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (4～6月)		今期実績 (7～9月) 【前年実績】		来期予測 (10～12月)
業況	▲4.5	↓	▲10.0 【0.0】	↓	▲40.0
売上	▲4.5	→	▲5.0 【▲9.1】	↓	▲25.0
採算	▲31.8	↑	▲20.0 【▲27.3】	↓	▲50.0
原材料	▲95.5	↑	▲75.0 【▲78.9】	↑	▲65.0
資金繰り	▲13.6	↑	▲5.0 【0.0】	↓	▲40.0
労働時間	4.5	↑	30.0 【▲13.6】	↓	5.0
雇用状況	31.8	→	30.0 【13.6】	↑	40.0

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

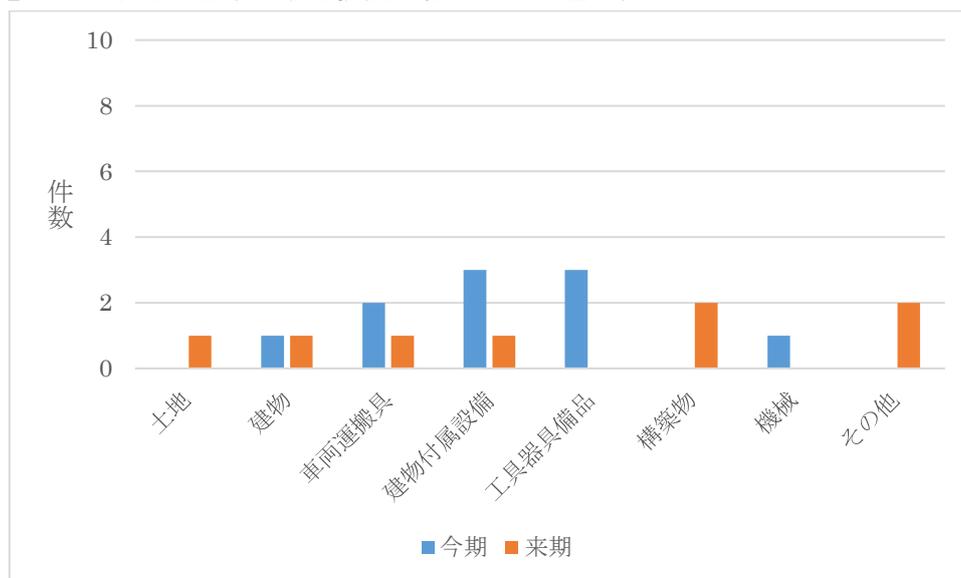
### 【設備投資調査】

前期(4～6月)設備投資をした企業は18.2%

今期(7～9月)設備投資をした企業は30.0%

来期(10～12月)設備投資を計画している企業は40.0%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 飲食・宿泊業の景気動向 》

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (4～6月)		今期実績			来期予測 (10～12月)
			(7～9月)	【前年実績】		
業況	29.4	↓	4.3	【▲4.3】	↓	▲8.7
売上	29.4	↓	21.7	【 8.7】	↓	▲4.3
採算	▲5.9	↓	▲21.7	【▲17.4】	↓	▲34.8
原材料	▲94.1	→	▲95.7	【▲100】	↑	▲87.0
資金繰り	0.0	↓	▲17.4	【▲8.7】	↓	▲26.1
労働時間	17.6	↓	▲8.7	【 13.0】	→	▲8.7
雇用状況	11.8	→	8.7	【 17.4】	→	8.7

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

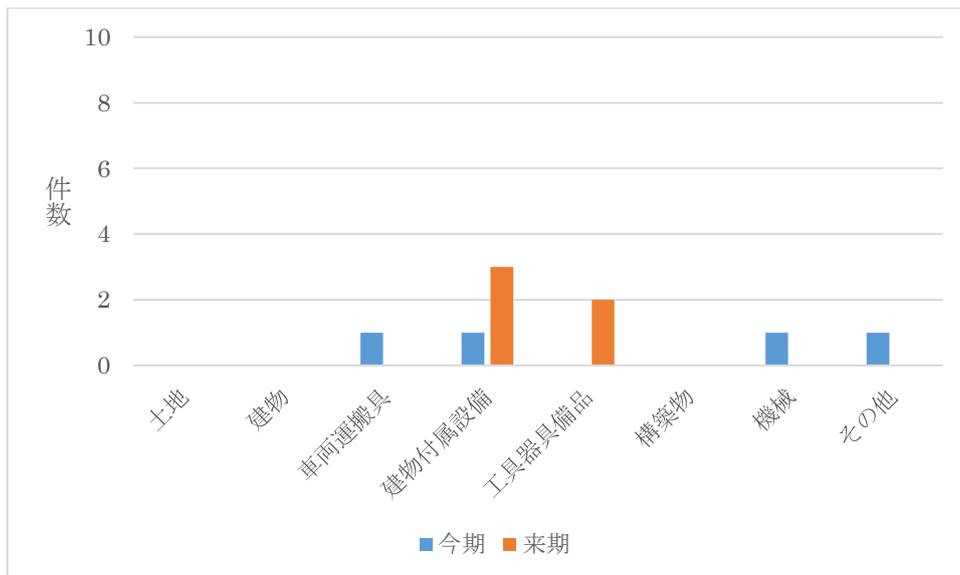
### 【設備投資調査】

前期（4～6月）設備投資をした企業は41.2%

今期（7～9月）設備投資をした企業は17.4%

来期（10～12月）設備投資を計画している企業は21.7%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

### 【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (4～6月)		今期実績 (7～9月) 【前年実績】		来期予測 (10～12月)
業況	20.0	↓	0.0 【3.1】	↓	▲5.0
売上	17.1	→	15.0 【25.0】	↓	5.0
採算	▲8.6	↑	▲2.5 【▲6.3】	→	▲7.5
原材料	▲65.7	→	▲62.5 【▲95.2】	↑	▲52.5
資金繰り	▲5.7	↑	5.0 【▲15.6】	↓	▲2.5
労働時間	0.0	↓	▲7.5 【6.3】	→	▲7.5
雇用状況	37.1	↓	25.0 【40.6】	↓	17.5

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

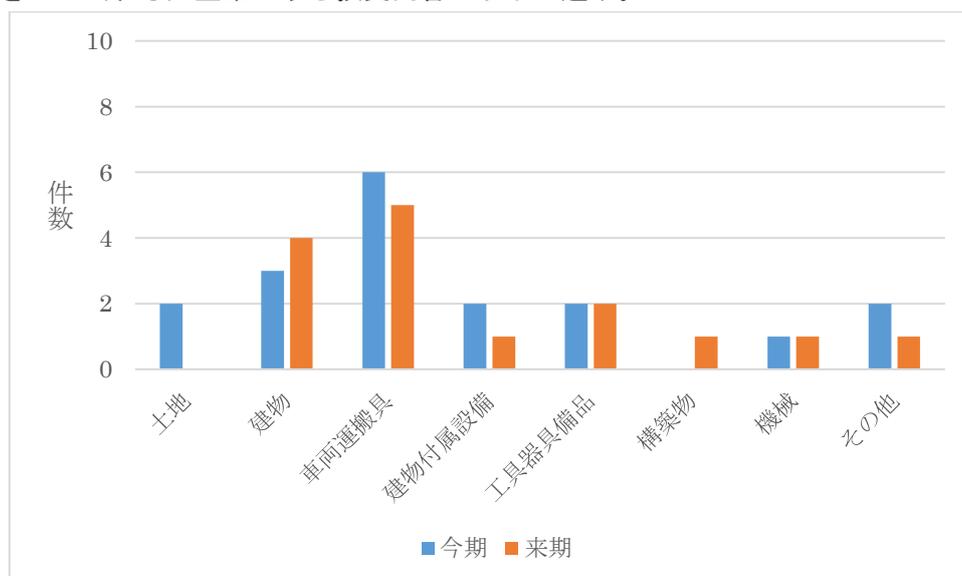
### 【設備投資調査】

前期(4～6月)設備投資をした企業は45.7%

今期(7～9月)設備投資をした企業は37.5%

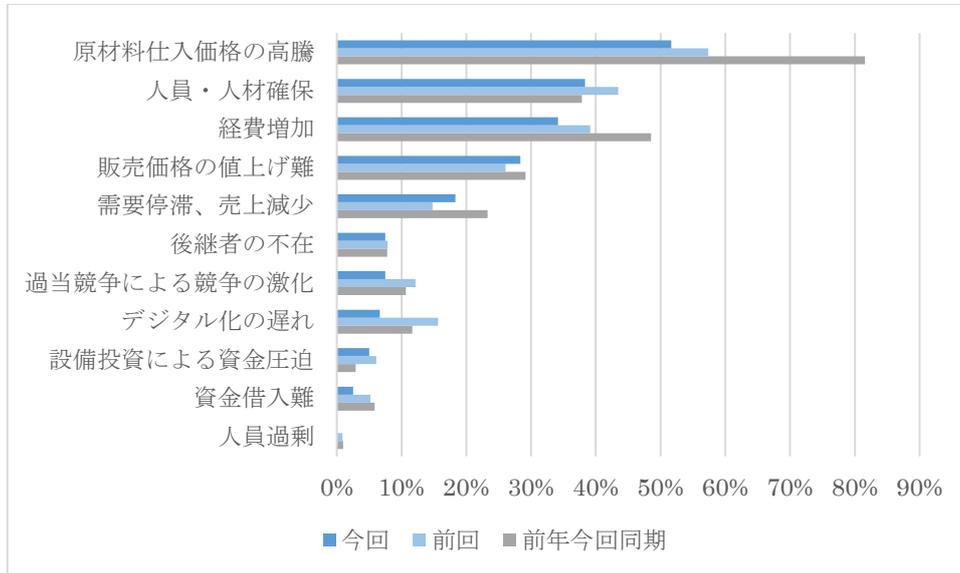
来期(10～12月)設備投資を計画している企業は30.0%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



## 《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査でも、経営上直面している問題点が多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（51.7%）』、次に『人員・人材確保（38.3%）』が多い結果となりました。



## 《 業種別の経営上の問題点 》

	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰
2位	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保	経費増加	販売価格値上げ難
3位	経費増加 販売価格値上げ難	経費増加	需要停滞、売上減少	販売価格の値上げ難	人員・人材確保

## 《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、  
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

景気動向

主要DI	前期実績		今期実績			来期予測
	(4～6月)		(7～9月)	【前年実績】		(10～12月)
業況	35.3	↓	4.0	【0.0】	↓	▲12.0
売上	41.2	↓	28.0	【11.1】	↓	▲16.0
採算	17.6	↓	▲12.0	【▲14.8】	↓	▲28.0
原材料	▲88.2	↓	▲92.0	【▲74.1】	↑	▲84.0
資金繰り	0.0	↓	▲20.0	【▲11.1】	→	▲24.0
労働時間	17.6	↓	▲8.0	【14.8】	→	▲12.0
雇用状況	▲35.3	↑	▲12.0	【▲18.5】	→	▲8.0

表中の矢印 . . . . . 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示  
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

## 《 企業の声 》

今回の調査では、人員・人材不足が課題であるという声が非常に多く寄せられました。

人員・人材確保が厳しい中、2023年10月より最低賃金が960円に改定され、人件費や法定福利費などの経費負担が増加しています。

2023年10月よりインボイス制度が施行され、免税事業者の税負担の増加や、インボイス登録をされていない企業との取引などで納税額が増加することが見込まれると共に、物価高騰の影響により、資金繰りが厳しい状況となっています。

また物価の上昇が賃金の上昇より速いため、消費者の購買意欲の低下が見受けられ、どの業種にもかかわらず売上減少の影響が続いているようです。「数円単位の軽度な値上げに対しては事務的な手間もあり都度価格転嫁しておらず、積み重なって少しずつ負担が増えてきている。」「値上げは客離れに繋がってしまう。」と、価格転嫁に躊躇している企業もあります。

また、市外からの進出企業が増え、景気回復を期待する声がある一方で、固定資産税の増加や価格競争が激化することに不安視する声もありました。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和6年1月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。